

令和7年2月6日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

## 山梨大学・国際医療福祉大学合同記念シンポジウム ～大学におけるこれからの胚培養士育成の在り方～の開催について

本学では、生命系データサイエンスならびに発生工学を中心とした基礎教育を中心に、学部・修士6年一貫による胚培養士<sup>※1</sup>育成を目指した取り組みを行っています。令和6年5月からは、国際医療福祉大学<sup>※2</sup>と相互の教育資源を生かした単位互換等での連携を開始するなど、より一層充実した胚培養士育成に向けた教育体制の強化を図ってきました。

この度、両大学の連携を記念して、合同でシンポジウム「大学におけるこれからの胚培養士育成の在り方」を下記のとおり開催いたします。

本シンポジウムでは、生殖医療で働く胚培養士の現状と将来に向けた課題の他、胚培養士育成に取り組む大学がその取り組みと課題について講演します。

つきましては、当日の取材についてどうぞよろしくお願いいたします。

(※1) 胚培養士…不妊治療に携わる医療系技術職。生殖補助技術を専門とし、医師の指導のもと、体外に取り出された配偶子（精子・卵子）や受精卵（胚）を取扱い、体外受精や顕微授精、胚の培養、凍結保存などを実施する。

(※2) 国際医療福祉大学…平成17年に日本で初めて胚培養士育成のための大学院修士課程を開設するなど、生殖医療分野における多くの教育研究実績を有する。

### 記

日時 : 令和7年2月8日（土）13:00～17:00  
場所 : 大村智記念学術館 大村記念ホール  
(山梨県甲府市武田4-4-37)

タイムテーブル:

13:00～ 開会挨拶・主旨説明  
13:15～ 【第一部講演】胚培養士の現状と将来に向けた課題  
14:50～ 【第二部講演】各大学における胚培養士育成の取り組みと課題  
(国際医療福祉大学、北里大学、岡山大学、近畿大学、山梨大学)  
16:50～ 挨拶・閉会

### 【取材について】

※取材を希望される報道関係者は、当日の12:40までに直接会場へお越しくください。

※質問等がある場合には、当日本学職員が対応させていただきます。

(シンポジウムに関する問合せ)  
山梨大学高度生殖補助技術センター  
教授 岸上 哲士  
TEL : 055-220-8535  
E-mail : cart-as@yamanashi.ac.jp

(広報に関する問合せ)  
山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室  
TEL : 055-220-8005  
E-mail : koho@yamanashi.ac.jp